

I-2. 科学技術の定点調査の調査設計に係る調査研究

A Study of Design of Expert Survey of Japanese Science and Technology Policy

キーワード Key Word	科学技術政策、高等教育政策、定点調査
	Science and Technology Policy, Expert Survey (Qualitative research)

1. 調査の目的

科学技術の定点調査は、有識者や研究者に対する意識調査に基づき、日本の科学技術やイノベーションの状況をモニタリングするもので、第4期科学技術基本計画中にも実施されてきたものであり、手法論的な基礎が確立され、調査から得られる結果が政策立案やモニタリングにおける貴重なデータとなることが立証されたところである。

本調査では、文部科学省科学技術・学術政策研究所が実施する「科学技術の状況に係る総合的意識調査」(以下、「次期定点調査」)について、第5期科学技術基本計画期間(平成28年度～平成32年度)中において、これまで以上に政策立案や評価に役立つデータの構築を目指すため、更に発展させた次期定点調査を実施するために必要な調査設計に係る調査を実施した。

2. 調査研究成果概要

(1) 調査の構造

本調査は、次期定点調査検討委員会による検討と、調査設計書の作成の二つからなる。調査の実施にあたっては、科学技術・学術政策研究所から提示された「第3期NISTEP 定点調査の調査設計(案)」を踏まえ作成した資料をもとに、次期定点調査検討委員会での議論を踏まえ、調査設計書の作成を図った。

(2) 有識者検討委員会による検討

次期定点調査検討委員会では、第5期科学技術基本計画期間(2016年度から2020年度まで)中に実施予定の科学技術の定点調査において、これまで以上に科学技術イノベーション政策の立案等に役立つものとするために、①何をモニタリングすべきか、②調査の継続性を保つ仕組み、分析をより深化させるための工夫等について検討し、調査設計に対する助言を得た。

検討委員会は、2回にわたり開催し、質問項目に求められる視点、調査対象候補者群に関する検討を行った。

表) 有識者検討委員会における検討事項

開催回	検討事項
第1回検討委員会	i) 科学技術の状況に係る総合的意識調査について ii) 科学技術の次期定点調査の質問項目と調査対象者について
第2回検討委員会	i) 科学技術の次期定点調査における調査対象者と継続性 ii) 次期定点調査における質問案について

(3) 調査設計書について

科学技術の次期定点調査の調査設計書の作成にあたっては、①質問項目の見直し、②調査対象者の想定からなる。

前者については、第4期科学技術基本計画中に実施された定点調査の質問項目と第5期基本計画で取り上げられた項目の比較検討を行い、継続的に質問すべき項目の整理を行うとともに、第5期基本計画と照らし新たに質問すべき項目案の追加等を行った。

また、後者については、これまでの定点調査の回答者群を踏まえ、新たに追加すべき回答者群の検討を行った。これまでの科学技術の定点調査の回答者は、大学・公的研究機関の研究者と、我が国の科学技術イノベーションの進展状況を俯瞰的に評価いただく識者等の二つからなる。

次期定点調査の検討においては、これまでの大学・公的研究機関からの回答者を拡充するとともに、科学技術イノベーションの状況をより多面的な観点から評価いただくための回答候補者群についての情報収集等を行った。

これらを踏まえ、科学技術の次期定点調査の調査設計書として、本調査報告のとりまとめを行った。

(4) 主な成果

① 質問項目について(第5期科学技術基本計画にて取り上げられた新機軸)

第5期科学技術基本計画では、新機軸として、オープンサイエンス、大学改革、地方創生、グローバルニーズ、インクルーシブ・イノベーション、政策形成への科学的助言等の視点があげられた。中でも大学改革は、基本計画の第4章、第7章で取り上げられ、国立大学改革と研究資金改革の一体的な推進や機能強化等が求められている。このことから、向こう5年間の我が国の科学技術の状況を観測していく上で、「大学改革と機能強化」の中で、学長リーダーシップ、マネジメント、研究資金、大学人の意識変化の把握が必要とされた。

また、基本計画では、「オープンサイエンス」を掲げ、国は資金配分機関、大学等の研究機関、研究者等の関係者と連携し推進体制を構築することが期待されている。それ以外にも、グローバルニーズやインクルーシブ・イノベーションに対応していくため、科学技術外交等の状況の把握が必要とされた。

【第5期科学技術基本計画の新機軸】

- オープンサイエンス
- 大学改革:学長リーダーシップ、マネジメント、研究資金等
- 地方創生
- 科学技術イノベーション人材
- 科学技術外交
- 政策形成への助言
- 司令塔機能

②回答対象者の想定

我が国の科学技術イノベーション活動を観測していく上で、研究環境に関する状況把握は大学、公的研究機関の研究者等からの意見が期待されるが、産学官連携、大学改革、イノベーション政策等の状況を把握していくには、産業界をはじめ、幅広い関与者からの意見が重要となる。このため、中小企業、グローバル企業、またベンチャー企業、ベンチャーキャピタル等の識者からの回答が調査対象候補者として必要とされた。